

【授業科目】統計学 Statistics

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
工藤 安史	1年次前期	選択	2	30	講義		巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対する フィードバック方法	<p>授業概要／統計に関連する様々なテーマについて学び、統計学に関連する教養を身につける。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／授業中の確認テストおよびレポート課題、さらに学年末試験などに対して、講義中および掲示板を通して、学習方法について助言する。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>① 量的な研究論文の内容を理解することができるようになる。</p> <p>② 卒業論文で量的な研究計画書をまとめることができるようになる。</p> <p>③ エビデンスに基づく医療サービスを患者に提供できるようになる。</p>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>第1回から第15回の事前学習：講義レジメを配布しますので、レジメを予め読んで来て下さい。また、教科書で該当する箇所を読んできて下さい。(目安となる事前学習の時間は、1回あたり2時間です)</p> <p>第1回から第15回の事後学習：講義で指導した内容を踏まえ、レジメプリントおよび教科書を中心に復習して下さい。(目安となる事後学習の時間も1回あたり2時間です)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回から第4回 統計資料の読み方 人口動態統計、人口静態統計、国民生活基礎調査、患者調査などの統計資料の読み方について学ぶ。</p> <p>第5回から第6回 データのまとめ方 度数分布表、グラフの種類、平均値と中央値、分散と標準偏差、四分位範囲などについて学ぶ。</p> <p>第7回から第9回 疾病頻度の指標について 罹患率と有病率、死亡率と年齢調整死亡率、致死率などについて学ぶ。</p> <p>第10回から第11回 研究デザイン コホート研究、症例対照研究、介入研究などについて学ぶ</p> <p>第12回から第14回 スクリーニングの指標 感度、特異度、偽陽性、偽陰性、陽性反応的中度、陰性反応的中度などについて学ぶ。</p> <p>第15回 まとめ この講義のまとめを行う。</p>							全て 工藤
評価方法 評価基準	筆記試験 100%で評価する。							
教科書	国民衛生の動向(2024/2025年版) 厚生労働統計協会			参考書等	適宜紹介する。			
学生へのメッセージ	この授業では、統計資料の読み方なども含め、統計学に関連する様々な内容について指導する。仮説検定などは、後期の講義で指導する。							